

令和6年度第2回本別警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年10月25日（金）午後1時30分から午後2時40分まで

2 開催場所

本別警察署会議室

3 出席者

(1) 協議会 5人（定員6人）

会 長 田 西 喜 代
副 会 長 池 田 靖
委 員 伊 藤 貴 之
委 員 小 林 雅 子
委 員 志 戸 田 由 美 子

(2) 警察署 7人

署 長 佐 藤 充 昭
副 署 長 岡 部 尚 樹
刑事・生活安全課長 三 好 隆 宏
地域・交通課長 小 林 勝 則
警 務 係 長
警 備 係 長
警 務 係 主 任

4 会議概要

(1) 会長挨拶

(2) 本別警察署長挨拶

(3) 前回協議会時の委員提言等に対する警察措置説明

■ 犯罪被害者支援条例に関する自治体への働き掛け（経過説明）

前回協議会后、本別町、足寄町及び陸別町の町長の下に赴き、道内における犯罪被害者支援条例制定状況や条例制定の意義等を説明の上、既存条例の改定や犯罪被害者支援条例制定に向けた検討を要請しました。

また、各町担当者をお招きして勉強会を開催し、犯罪被害者の実態や犯罪被害者支援条例制定の意義等について理解を深めていただきました。

当署では、引き続き管内3町に対する必要な情報提供や協力を行っていく所存です。

■ 委員からの提言等

大規模地震を想定した各種防災対策の推進及び防災訓練の実施について、管内3町（本別町・足寄町・陸別町）との連携状況を伺いたい。

■ 警察回答

自治体や地域の方と連携した防災対策として、足寄町で開催された「防災を考える日」に参加し、住民の方の避難誘導訓練を実施したほか、警察装備品や特殊車両の展示、広報啓発を実施しました。

10月1日には、本別町の柏木町内会において防災講話を実施し、平素から御家庭でできる防災対策について御説明したほか、毛布等の身近な物でできる簡易担

架作成要領や簡易ランタン作成要領を訓練展示しました。

また、8月16日には当署単独による雌阿寒岳噴火災害を想定した災害警備訓練を実施し、無線等不感地帯における通信確保訓練や災害警備本部設置・運営訓練を実施し対処能力の向上を図りました。

当署では、引き続き各種災害対応に万全を期すとともに、自治体等関係機関と連携した対策を推進していく所存です。

(4) 業務推進状況等説明

- 刑事・生活安全関係
- 地域・交通関係

(5) 事前アンケートに対する対応等説明

■ 委員

十勝管内において年々高齢者の孤独死が増加傾向にあるが、本別警察署管内においても同様の傾向にあるのか。

地域における安否確認は、回覧板の手渡しや町内会費等の徴収時に確認しているが、近年は地域との交流を避ける傾向にあり、孤独死増加の一因となっているように思われる。

■ 警察回答

警察庁統計資料「警察取扱死体のうち、自宅において死亡した1人暮らしの者（令和6年上半期・暫定値）」によると、全国警察における取扱死体数のうち、自宅において死亡した1人暮らしの者に占める65歳以上の割合は、約80%となっています。

警察署ごとの統計はございませんので、正確な数値を申し上げることはできませんが、当署におけるこれまでの御遺体取扱い状況を鑑みると、当署管内も同様の傾向にあります。

なお、当署では、交番・駐在所の警察官による巡回連絡を通じた見守りを行っているほか、自治体、民生委員、社会福祉協議会等の関係機関と連携した活動を行っています。

引き続き、各種警察活動を通じて独居高齢者の把握に努めていく所存です。

■ 委員

足寄町における花火大会の日に未成年者と思われるグループ6～8名位を発見したが、うち1名が煙草と思われる物を持っていた。

■ 警察回答

当署では、少年の健全育成を図るべく、非行防止教室や薬物乱用防止教室等を通じた啓発活動、学校等関係機関との連携、少年補導を視野に入れた多角的視点でのパトロールを推進しています。

また、各種イベント開催時には、体制を強化して少年補導を推進しています。

頂いた情報は参考とさせていただくとともに、今後も各種啓発及び少年補導を強力に推進していく所存ですので、引き続き御協力をお願いいたします。

■ 委員

未成年者による飲酒・喫煙行為を目撃した場合どのように対応すれば良いのか伺いたい。

大人として見て見ぬ振りをするのは良くないと思うが、逆ギレや反撃の可能性を考えると恐怖がある。

■ 警察回答

注意・指導することに不安がある場合は、躊躇せず110番通報をお願いいたします。

■ 委員

道道663号は、国道の迂回路として通行量が多く、しかもかなりのスピードで走行する車両がほとんどです。

このエリアには、町営住宅や子育て支援住宅、子どもセンターが隣接しているほか、北3条2丁目の十勝東部森林管理署と町障がい者地域支援センター付近の道道と町道の交差点には、町道側に一時停止の標識が無く、過去にも数回車同士の衝突事故が発生しています。

■ 警察回答

当署では、管内における交通事故発生状況等を踏まえた諸対策を推進しており、メロディーパトロールや交通安全教室等の啓発活動のほか、速度違反をはじめとする各種取締りを行っています。

道道663号及び直近を走る国道（241号・242号）においては、交差点違反や速度違反を中心とした取締りを推進して交通事故抑止を図っていますが、より一層取締りを徹底して更なる抑止を図っていく所存です。

また、今後道道663号及び周辺道路の現地調査を行って、交通規制や諸対策に関する検討を行っていく所存です。

■ 委員

高齢者の運転免許証返納について、今よりも厳格なルールを作成した方が良いと思う。

■ 警察回答

令和5年中、全道における65歳以上の方が第1当事者となる人身交通事故は、2,520件発生しており、全交通事故の約30%を占めています。

また、2,520件のうち、75歳以上の方が第1当事者となる事故は、1,037件発生しており、約40%を占めています。

運転免許証返納については、自主返納制度が設けられており、自主返納された方は、運転経歴証明書の交付を受けることができます。

なお、運転経歴証明書の交付を受けた方に対する支援として、民間企業や自治体ごとに様々な支援サービスが提供されています。

対高齢者に対する制度としては、SDS（シルバードライバーズサポート）プログラムという制度があり、70歳以上で過去1年以内に2回以上交通事故を起こした方を対象に、戸別訪問して交通安全指導を行ったり、安全運転相談ダイヤル「#8080」について説明を行っています。

これら制度等は、警察署単独での変更は難しいところもございますので、頂いた御意見は警察本部とも共有させていただくとともに、今後の制度設計等の参考とさせていただきます。

■ 委員

近年、鹿が増加し道路に出現することが頻繁になっているので、町外から来る方に分かるような工夫をして交通事故を防いでほしい。

■ 警察回答

1年の中でも特に秋から冬にかけては、全道的に鹿との交通事故が増加する傾向にあり、当署管内も同様の傾向にあります。

交通安全講話等開催時には、鹿との交通事故防止について繰り返しお話をさせていただいているほか、交番・駐在所で発行している広報紙に鹿との交通事故防止に関する記事を掲載して注意喚起を行っています。

また、今後当署ホームページに鹿との交通事故発生場所等を記したマップを掲載予定であるほか、道路管理者と連携した対策（道路情報板を活用した情報発信や鹿との交通事故多発地点への看板設置等）を検討・推進し、町内外を問わず多くのドライバーに注意喚起していく所存です。

(6) 諮問事項

交通死亡事故抑止対策

(7) 意見交換

■ 委員

特殊詐欺被害防止に関する啓発活動について今後どのような啓発活動を行っていくのか伺いたい。

また、啓発活動実施に際しては、「特殊詐欺に気をつけてください。」といった抽象的な注意喚起に終始すること無く、被害イメージを想像できるような具体的な手口紹介等を交えた注意喚起を実施してもらいたい。

■ 警察回答

定期的な取り組みとして実施している年金支給日における金融機関での啓発活動を継続実施していくほか、あらゆる機会を通じて注意喚起を図っていく予定です。

また、啓発活動実施に際しては、住民の方に分かりやすい情報発信となるよう努めてまいります。

■ 委員

本別警察署管内における廃棄物処理法違反事件について、どのような事件が発生しているのか実態を伺いたい。

■ 警察回答

道路沿線や河川敷等におけるゴミの不法投棄や自宅敷地内等におけるゴミの不法焼却事案が主となっています。

■ 委員

犯罪被害者支援条例に関する自治体への働き掛けについて、警察の働き掛けに対する管内3町の反応を伺いたい。

■ 警察回答

当署からの働き掛けに対して3町の町長からは、「必要な調査と検討をしていく。」旨の回答を頂いています。

当署では、引き続き管内3町に対する情報提供や協力を行っていく所存です。

■ 委員

本年、本別警察署から「ひまわりの絆プロジェクト」用の種を頂いて、初めて育てたが、日々成長するひまわりを見る度に「交通事故に気をつけよう。」という意識が呼び起こされた。

非常に良い取り組みであると実感したので、より一層この取り組みを広げてもらいたい。

■ 警察回答

今後も創意工夫を凝らしながら「ひまわりの絆プロジェクト」を推進していくほか、様々な機関・団体とも連携しながら取り組みの拡大を図っていく所存です。

■ 委員

先般、ある町内会において「自転車を運転する姿をよく目撃する独居高齢者と思われる方を最近見なくなった。」という話題が出た。

こういった場合、どのような対応をすべきか伺いたい。

■ 警察回答

安否確認等の必要がありますので、警察に通報いただくとともに、自治体の包括支援センターにおいては、65歳以上の高齢者の方を対象とした面接やケア等を行っている場合がありますので、自治体に対する情報提供もお願いいたします。

■ 委員

先般、足寄町の道の駅において足寄信友会、足寄町役場及び足寄交番合同による啓発活動（交通安全）を実施した。

交通死亡事故を抑止するための特効薬は無く、地道な活動を積み重ねて地域住民等の交通安全に関する意識の浸透を図るほか無いと考えている。

今後も自分達にできる範囲で交通安全に関する活動等を行っていこうと思います。

■ 委員

陸別小学校正門前には手押し式信号の信号柱が設置されており、数年前から傾きが認められ、直近を通過するトラック等が接触事故を起こすのではないかと心配していた。

かねてより陸別駐在所長に懸念事項として相談していましたが、昨日、同小学校前を通りかかったところ、信号柱の傾きは修繕されており、地域における懸念事項が解消されましたので、この場をお借りして報告させていただきます。

(8) 次回開催予定

令和7年2月第3週頃